

すいさん 山形

No. **381**

令和7年 / **3**月号

山形県漁業協同組合
広報誌

漁民と手をつなぐ広報誌



庄内おばこサワラブランド推進協議会

豊洲市場視察

2月20日、庄内おばこサワラブランド推進協議会とその関係者で豊洲市場を視察し、市場関係者との意見交換を行ってきました。

はじめに、早朝4時半から築地魚市場株式会社（東市）の節田 上席執行役員と舩本 係長より、水産卸売場棟や水産仲卸売場棟を案内していただき、その後おばこサワラについての評価や今後の販売方法等に係る意見交換を行いました。水産仲卸売場でおばこサワラを買っている仲卸業者さんとも直接意見交換を行うこともでき、非常に実りのある視察研修となりました。

販売企画課 課長代理 岡部 太郎

令和6年度 地区座談会



令和6年12月末損益実績を踏まえた年間収支見込みについて、令和7年度計画について、漁業権に係る同意制度・部会制度について説明するとともに、広く意見を承るため、1月25日から各総括支所管内に会場を設け地区座談会を開催しました。

加茂出張所

1月25日(土) 午前10時
出席者24名

Q 最近自分の集落の若い人たちは海に対して関心がない。脱退したら出資金がいくら戻ってくるのか問い合わせが来る。

A 近年満額戻ることはなく、6、7割程度かと思う。赤字をなくしていないとならない。

Q 出荷、集荷業務については、職員が急にいなくなられては困る。

A 今後、自分たちでやれるよう業務の引継ぎをお願いしたい。

A 皆さんになれていただけるまでは職員を配置する。

Q 自分たちで業務を行うようになれば様々なトラブルの可能性がある。心配だ。

A 組合でも模索しながら不便のないようにお互い協力していきたい。出荷方法のマニュアル等も今後作成する。

Q 飛島や温海では問題は出なかったか。

A 貯金の減少は見られた。

Q 出荷体制について教えてほしい箱や氷を使用した際に管理でき

るよう、今後は個人に、本人控えと組合控えが複写になっている荷受け帳を渡す。荷受け帳は由良総括支所でチェックする。

Q サザエに臭いがあつた際、返品されるが今後はどうなるのか。

A 今まで通り電話連絡する。

Q 魚価が安定するよう、活魚のいけすを利用する等、何か方法はな

いか。

A 県の補助事業で設置した活魚水槽が由良市場にある。また、三瀬の栽培センターにも水槽があるので、希望する人がいたら対応できる。

Q 各漁業者団体の運営についてはどこまでフォローしてくれるのか。

A 大変申し訳ないのだが、不祥事が起きてしまったことで組合での通帳管理が出来なくなった。団体の運営については相談も受けるしサポートする。

Q 加茂出張所が無人化したら中には入れないのか。総会資料のコピー等はどうか。

A コピーについては由良総括支所でお願したい。また、集荷時に職員に渡していただければ対応する。

Q 加茂出張所の無人化は、防犯上心配だ。

A 防犯カメラの設置を検討している。

念珠関・温海地区合同

2月10日(月) 午前10時
出席者23名

Q 収支浮揚策には洋上風力関連事業が入っていなかったがどうなっているのか。

A 物価が上がっており、業者がすぐには動けないため遅れている。そのため浮揚策には盛り込んでいない。

Q ALPS処理水支援事業で増資をするが、自己資本比率の回復はいつになるのか。

A 令和9年度までかかる。

Q 貸倒引当金はどのくらいあり、回収の努力はしているのか。

A 念珠関地区にはないが、現在150万円ほど回収が難しい状況。購買未収金の回収が厳しいと判断した場合、借入の話もしている。また、債権売却も行っている。

Q 分割でもいいから未収金がないようにしてもらいたい。また、貸倒債権はどのくらいあるのか。差し押さえるなどはないのか。

A 貸倒債権は2億数千万円ほどあり、基金協会が中心となって回収

に努めている。基金協会が回収した債権の按分した額が組合に入る仕組みとなっている。

Q 購買限度額を引き上げる話は進んでいるのか。底曳きで限度額を300万円くらいまで引き上げてほしい。

A 検討する。3月の理事会に諮る。

Q 販売手数料を2%上げるのはやめてほしい。

A 理事会で上げないことを決定した。

Q 集荷場の廃止を検討すべき。

A 地元の理解が必要。検討する。

Q 底びき船は年間100日出漁しているが、残りの250日、何かしたいことはあるか。(組合より)

(漁業者)

A 鼠ヶ関では岩ガキ養殖を行っているので組合からも協力してほしい。越波対策で港湾事務所がテトラポットを入れる計画があるが、10年かかると言われている。もっと早く完成するよう組合からも後押し願いたい。

A 越波対策については県議も知っている。他に、米子漁港、平佐浜に関しても動いてもらっている。



由良地区・豊浦地区 加茂地区合同

2月18日(火) 午前10時
出席者26名

Q 由良も重油を積む船が減ってきており、軽油に切り替わっていくと思うが、重油タンクは今後どうするつもりか。

A 以前からこの話は聞いている。各支所の給油施設も劣化し修繕していく必要がある。経営状況が厳しい中で、今すぐとはいかないが

なるべく早く切り替えできるようにしていく。

Q サケの受益者負担金の金額が変わるのか。

A 県から、見直し案についてまだ提示されていないが、2000円の負担金に対し水揚げの何パーセントかは徴収する予定。

Q イガイの検査方法と出荷体制等について教えてほしい。

A 1回の検査で1年間採れるというわけではなく、水産研究所でも検査している。細菌等が検出された場合、検査に合格するまで時間がかかりすぎる為、対策を要望していきたい。

Q 三瀬漁港についてはどう考えているのか

A 過去にはまだ使うとの声もあったが、現在どうするは決まっていない。県や市とも協議していかねければならない。

Q ここ数年で職員がたくさん辞めている。人員を減らし人件費を浮かせるのはおかしい。退職理由を検証してほしいし、根本から見直さないと健全な漁協経営とは言えないのではないか。

A 退職した職員の中には、給料が見合わない等の理由があるのかも知れないが、人件費を削ったの組織経営は成り立つわけがないと考えている。また、連続赤字経営の中漁業者の皆さんの手数料も引き

上げさせていただいた。皆さんから出資金を預かり経営しているの、農林中央金庫と相談しながらやれること、やれないことを見定めていきたいと考えている。

Q 自己資本比率について危機的状況だ。ATMもなくなり信用事業もなくなれば大変不便だ。ぜひともなくさないようにしてほしい。信用事業譲渡をぜひお願いしたい。

A 信用事業は継続していく必要があると考えている。赤字が続く、条件が整わずにいるが、信用事業譲渡することで、今後も漁業者がお金を借りられるような状況にしていきたい。

Q オーダーメイド事業について、本所と支所間での連携は取れているのか。支所に問い合わせると、聞いていないといわれた。

A 連携がなっていないかったと言われれば至らない部分があった。申し訳なく思う。

Q 女性部(支部)の会計について、いままで組合にすべてお任せしていたのに、いきなり事務局がなくなるといのは困る。現事務局担当職員の異動はしないほしい。

A 組織会計関係で不祥事があり改善計画を提出した。組合長が認める団体、例えば水難救済会や漁港協力会などは引き続き組合職員が管理していく。

他団体については、ある一定期

吹浦地区

2月27日(木) 午前9時
出席者19名

間サポートしながら引継ぎを行うので皆さんにいきなり丸投げはしない。今は総会等あるだろうから、会計処理が終わり次第お返ししていく。

Q 灯油の販売について、組合員はどのくらい購入しているのか。また、正・准組合員の利用率はどのくらいか。

A 組合員全体の購入比率は50%を満たない状況。吹浦地区ではさらに10%程低いのだが、原因としてはタンクローリーを持っておらず、業者に委託しており、配達日が指定されているため、利用者が少ないのではないかと。今後は個別訪問等を行い普及推進に力を入れていきたい。

Q 県内外に向け魚の販売を拡大できないのか。

A タイが中心となるが、販売課では各総括支所より仕入れたものを他県へ出荷している。

Q 車両の販売や修理等を車庫等と

提携しやってみてはどうか。

A 数年前にも話が出た。業者に相談したところ、塩害仕様の車を作るのは特注となり、当時はできなかった。今すぐは厳しいがご意見を真摯に受け止め、可能性を模索していきたい。

Q 漁具について、組合で他業者に負けないような価格設定をし、販売強化していけないか。

A 漁具の取り扱いには現在もある。他の業者と比べ安い物もあるので、欲しい漁具があれば購買課に問い合わせしてほしい。今後は組合で取扱いのある漁具の中からピックアップしてPRしていきたい。

Q 部会制度について、2号海区である酒田・遊佐は部会が一つになっているが、それぞれ部会を設けることはできないのか。

A 今のままではできない。10年後の漁業権免許更新の際に話ができれば、それぞれに部会を設けることも可能となる。まずは部会を成立させ、遊佐地区のことは遊佐地区で決定できるよう進めさせていた

Q 赤字対策について、自然災害には国や県の支援があるが漁業には何もない。支援や要望はしているのか。

A 6月開催の総代会で諮る。国や県への要望活動は、11月頃になるため次年度以降の予算となる。要望がかなわなかったものについては毎年再提出している。次年度については県農林水産部長に農林中央金庫と一緒に直談判することになった。

Q 海業は今後始まる洋上風力事業における協調策や振興策にも該当すると考えているが、漁撈ではないため漁船リース事業やオーダーメイド事業では優先順位が低くなる。海業についても実績としてみてほしい。

A 洋上風力事業では、海業（海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する取り組みや事業のこと）という水産庁の事業と漁業者との連携を考えている。

それがうまくいき実績となれば、当組合の定款を変えていくこともできるが、現状ではできない。みなさんの収入が上がればいいことだが、漁獲がなければ市場もなくなってしまうので、漁協の市場を動かす事と、皆さんの漁労所得を上げることを両軸として考えながら、応募している業者にご協力いただきながら実績を積んでいってもらいたい。

酒田地区

2月28日(金) 午前9時
出席者9名

Q 部会制度について、協議の際役員や代表者は決めるのか。

A 代表者は決めない。座長・議長は決める。

Q 部会制度についてだが、書面ではなく総代会で決定することはできなかったのか。

A 2月中旬頃に洋上風力業者から「4月から海面調査をしたい」と連絡があり、6月の総代会での決定だと、国土交通省の承認が下りる秋まで海面調査が実施できなくなり、漁業者の皆さんにも迷惑をかけてしまう。そのため大変申し訳ないが急遽実施した。

Q 現在刺網漁業をしているのは12隻くらい。遊漁船が多くなり、漁礁での操業で2/3の同意を得ると自由に操業していいことになるのか。

A 漁礁で操業されたら困るので、それに関しては反対していく。

Q 部会で決定されたことは、理事会と同等なのか。

A 部会で決まったことは総会と同

じ決議事項となる。全てが部会で決定するということではない。

Q 信用事業にそつた予算編成ではなく、漁協として夢のあるようなビジョンを柱として掲げていただきたい。

A JFグループの運動方針がありその中にある柱をもって総代会にてお諮りするが、まずは黒字にすることが大前提。ご指摘はしっかりと受け止める。

Q 漁業権消滅区域で操業している漁業者がいるのだが、風車の建設によって今後立ち入りできないと言われるのではないか。実際すでに弊害が出てきている。組合として対応をお願いしたい。

A 皆さんのご心配のとおり、深刻な問題になるとらえている。酒田北港において漁業権を放棄した経緯の中に、港湾計画が完全に完了するまでは、漁業者は作業として操業を続けることができるという取り決めがある。組合に写しもあるのです、それをもって交渉をしていく。

Q 海難時等緊急時の電波発信装置について、行政と一緒に開発できたらと業者から相談されている。漁業者の負担が少ない、良い物ができるよう組合に間に入ってもら

い、漁業ごとの意見を集約して作っていただいたいと考えているので協力いただきたい。

A そのシステムを導入することで、海岸局がいらなくなるというメリットが考えられる。

海岸局を置かなくなると通信士もいらず、アンテナ修繕など必要がなくなる。

なにより、皆さんが使うことを重点におき、漁業無線に勝る装置の開発が必須であり、組合としても協力していきたい。



令和6年度 臨時総会 開催

令和7年3月8日(土)
10時より漁協本所講堂にて令和6年度 臨時総会が開催されました。

本臨時総会では第1号議案 漁業権に係る部会制度の導入に関する件について協議されました。

これは漁業権に係る同意制度・部会制度を当組合で導入すべきか否かについて協議していただいたもので、現在進められている遊佐沖洋上風力発電事業において、再エネ海域利用法に基づく同意・承諾手続きなどを踏まえ、部会制度を導入するべきとの考えにより開催されたものです。



部会制度の導入により、従来総会で決定されていた漁業権に係る案件等について、それぞれの部会の議決によって行うことができることから、その都度総会を開催する必要がなくなり、人的・経済的負担が軽減されるメリットがあります。

なお本総会については、開票の結果正組合員379名のうち有効投票数は231であり、賛成229、反対2のため賛成多数と認め、第1号議案については原案通り可決承認されました。



新人紹介



総務部担当部長
五十嵐 祐太

農林中央金庫から出向してまいりました五十嵐祐太と申します。

昨年度から皆様と一緒に仕事をさせていただきましたが、4月からは山形県漁業協同組合の一員としてお世話になります。改めて、よろしくお願いいたします。

出身は天童市で、今年42歳になります。

大学を卒業後、山形銀行で10年、農林中金で10年働いてきました。山形銀行では株や債券などの市場運用業務に携わり、農林中金では農協系統の財務や内部統制など経営支援といった業務に従事してまいりました。

家族は妻と二人の息子（中学生と小学生）、あとペットで犬を飼っています。音楽を聞くのが好きで、10月にOasisというバンドの再結成公演に行くのを今から楽しみにしています。

最後になりますが、山形県漁協は県内水産業の要だと考えています。そうした漁協の一員として、微力ではありますが、これまでの経験を活かしながら皆様のお役に立てるよう尽力してまいります。至らぬ点多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



総務部付
芳賀 友志

二月より総務部に配属となりました、芳賀友志（はがともし）と申します。鶴岡市出身で、魚料理が大好きです。幼少の頃には、行商のおばちゃんがりやカーを引いて集落まで魚売りによく来ていて、手際よくその場で下処理してくれていたのを今も懐かしく思い出します。

これまで、漁業関係にはあまり縁がありませんでしたが、かつては農協職員としても長く勤務いたしました。全く違う業界ですが、経験してきたことを少しでも業務に活かせればと考えおります。自分にとって未知の世界ではありますが、早く仕事にも慣れお役に立てるよう、新たな気持ちで頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

人事異動のお知らせ

◆新規採用（発令日…令和7年2月1日付）

芳賀 友志 総務部付

◆出向（発令日…令和7年4月1日付）

五十嵐 祐太 総務部担当部長（経営対策担当）
【農林中央金庫山形支店より出向】

理事会情報

令和6年度第8回理事会議案

開催日…令和7年2月4日(火)

場所…第一会議室

【協議事項】

1 組織会計事務取扱要領の改訂（案）について

2 山形県常例検査に係る検査書及び改善状況報告書について

3 庄内海丸桜田店の今後について

4 道の駅あつみに対する漁協関連店舗の出店依頼について

5 目標記述書導入の件について

【報告事項】

1 第27回参議院議員選挙における推奨状

2 その他

令和6年度第9回理事会議案

開催日…令和7年2月17日(月)

場所…第一会議室

【協議事項】

1 臨時総会の開催及び臨時総会提出議案について

【報告事項】

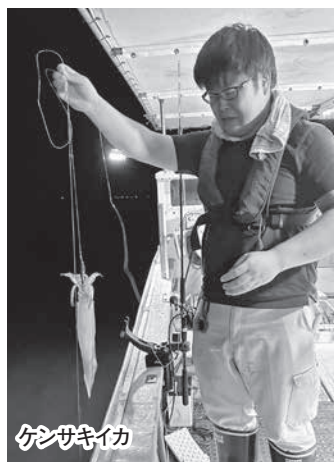
1 その他



何でも魚ッティング



温暖化で海は
どうなっている?どうする?



ケンサキイカ

昨年は年平均の気温や海水温が過去最高を記録した日本ですが、海の状況はどうなっているのでしょうか。各地の水産研究所等から報告のあった例の一部を紹介します。

東北がイセエビの産地に！

お伊勢参りで知られる暖かい三重県や千葉県が主産地のイセエビですが、近年は北上し、ついには北海道でも見つかっています。茨城県では「常陸乃国いせ海老」、福島県では「磐城イセエビ」という名前でブランド化が図られ、宮城県や岩手県でも刺網で狙い操業をする漁業者が増えてきています。



ワニエソ(底びき網)



ワニエソ

貝類養殖がピンチ！

北海道や青森県のホタテガイ、宮城県や広島県のマガキ養殖では高水温による大量死が報告されています。特にホタテガイは稚貝の確保も厳しいようで、今後が心配される状況になっています。

庄内浜ではどう取組む？

開放的な海岸線の庄内浜では、その地形的特性から魚種の入替わりが多く、それに柔軟に対応してきた漁業文化があると思います。変わりゆく環境の中で漁業が生き残っていくためには、新顔の魚介類も大いに活用していくことが必要だと考えます。

水産研究所では、ケンサキイカの漁獲技術やワニエソの加工利用等について研究を進めていますが、漁業者の皆様、他にもアイデアがあったらどんどんリクエストしてください。よろしくお願いいたします。

水産研究所 所長 阿部 信彦

ユニバスターズ
ロゴイメージ

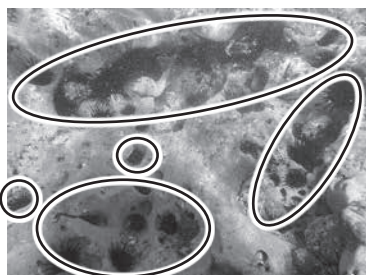


ユニバスターズ

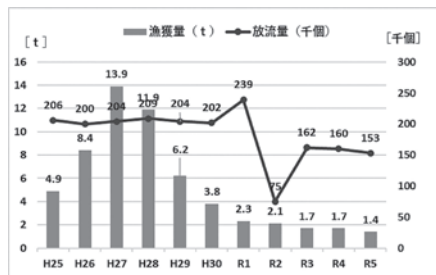
由良藻場保全会 設立



由良藻場保全会 設立総会



R6年10月 由良海岸に大量発生しているウニ



鶴岡市管内におけるアワビの漁獲量と種苗放流量の推移

浅海漁業者の主要な収入源の一つ「アワビ」。本市では補助金で漁業者の稚貝放流活動を支援して漁獲の安定化を目指しておりますが、その漁獲量は平成27年度の13.9トンがピークで、その後は激減して令和5年度も1.4トンと低迷。温暖化や食害生物の増加による海藻の減少などが要因の一つと考えられています。

また、由良ではアワビ増殖場でムラサキウニが大量発生して磯焼けが進み、昨年8月と10月にボランティアでウニ駆除を行うも獲りきれなかったため、榊原英樹さんと佐藤義男さん等漁業者、漁協、県、市で相談を重ね、由良の漁業者が国の水産多面的機能発揮対策事業を活用して藻場保全活動に取り組む方針となりました。

そして2月25日、由良藻場保全会の設立総会で、発起人の榊原英樹さんが「由良では10年くらいアワビが獲れない状況が続き、特にウニによる藻場の食害が目立つ。また、近年、磯見漁を始めた方もいるため資源増殖が必要。藻場保全の重要性が増している中で、磯見組合と潜水組合の有志で取り組もう。」と出席者に団体の設立や事業計画を提案し、全会一致で可決されました。

令和7年度から、由良で、藻場再生に向けた、漁業者、漁協、加茂水産高校、国、県、市の連携事業が始まります。

鶴岡市農林水産部 農山漁村振興課

主査 五十嵐 崇

JF共済は、海に生き、浜に生活する組合員・地域住民のみなさまの暮らしの保障に万全を期すことを通じて、美しい海と漁業を守り、豊かに安心して暮らすことのできる魅力ある地域づくりに貢献することをめざしています。

STEP1 ご契約者台帳をご覧ください。

ご契約者台帳

STEP2 ご家族構成についてご確認ください。

ご家族の加入状況が
一目でわかります！

- ☒ ご家族構成に
変更は
ありませんか？

ご結婚やご出産など、家族構成に変更のある場合はお知らせください。最新の家族情報をお知らせすることで、家族全体の保障内容を一目で確認することができ、ご自身やご家族の保障の過不足を把握できるようになります。

STEP3 共済金の請求忘れがないかご確認ください。

- ☒ 病気やケガによる入院、手術、
通院はありませんでしたか？

⚠ 請求忘れにつながりやすい事例
・日帰りでの手術 ・退院後の通院

- ☒ 建物や家財、
漁具等の被害は
ありませんでしたか？

⚠ 請求忘れにつながりやすい事例
・盗難による被害 ・落雷による被害
・被害額が少ない場合
(強風により瓦が数枚飛んだ、窓ガラスが割れた等)



共済金の
請求手続きを
お手伝いします！

STEP4 ご自身やご家族の保障内容についてご確認ください。

- ☒ 保障内容でご不明、ご心配な点はありませんか？

確認ポイント

・万一の保障 ・医療の保障 ・老後の保障 ・建物・家財等の補償 ・くるまの補償

- ☒ 他社でご加入中の保険や共済でお悩みはありませんか？

よくあるお悩み

・今の保障内容がわからない ・保険料が高い ・契約更新により保険料があがった



分析シート

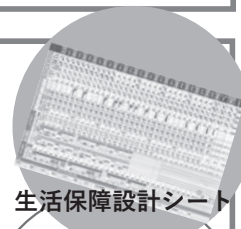
現在の保障内容が
一目でわかる資料
をお届けします！

STEP5 ご自身やご家族の保障内容が今後（将来）も安心かどうかご確認ください。

- ☒ 保障金額、保障期間は現在のライフステージに合っていますか？

将来を見据えた保障を考える際には、ライフサイクルの段階ごとに変わるコストとリスクを把握する必要があります。

とくに生涯現役の漁業者は、将来にわたる漁労収入と漁労支出（漁船購入等）を把握する必要があり、生涯生活保障設計がとても重要になります。



生活保障設計シート

「生涯生活保障設計」
のお手伝いを
いたします！

JF共済では、みなさまにより満足・納得してご利用いただけるよう
「浜のあんしんサポート運動」を展開しております。

加入している契約を確認しましょう！！

「浜のあんしんサポート運動」では皆様の大切なご契約内容について、保障金額をはじめ、満期日やご契約者様の住所等、現在ご契約いただいている内容を再確認させていただきます。

①住所や共済金の受取人の変更はありませんか？

ご契約から期間が経過すると、お住まいの住所等に変更があった場合、届出を忘れがちになります。住所変更が正しくされていないとJF共済からの郵送される年末調整や確定申告等に必要な書類が手元に届かない場合があります。

また共済金の受取人についても、変更の届出を忘れてしまうご契約者様が多くみられ、請求の際に思いがけないトラブルに発展する事があります。

そのようなトラブルを未然に防ぐためにも、「浜のあんしんサポート運動」を通じてご契約を万全な状態にしましょう。



②必要な保障に加入していますか？

JF共済は、過去に何度も保障内容の改正が行われており、現在に至るまで、保障の充実が図られています。

ご契約当時には支払対象外だった手術等でも、改正によりご請求いただける場合があります。

「浜のあんしんサポート運動」を上手に活用して、ご自身の保障内容を確認するとともに、最新の状態にアップデートして病気やケガに備えましょう！



JF共済で早めの準備を！！

近年、日本全国で季節を問わず様々な自然災害が発生しています。JF共済の生活総合共済は火事での保障だけでなく、風・雹・雪害、洪水などの水害、地震による損害を補償します。

ご契約の保障内容によっては、自然災害の保障が付帯されておらず、必要な補償を受けられない場合もあります。

今のうちに保障内容を再度確認し、災害へ備えましょう。



お問合せ・ご相談はこちらまで

<http://www.kyosuioren.or.jp/>

JF共済



酒保の海だより

酒田海上保安部から皆様のお役に立つ情報第十七弾！！
これから春がやってきて、日差しも戻ってきます
今回は見張りに大事な目の話について！目をいたわってますか？

疲れ目の約6割がドライアイ？

○ ドライアイの直接的な原因は涙の分泌量が減ること、まばたきの不足や加齢により、涙の分泌量が減ったり、質が変わることで目の表面が乾いたり傷ついたりすることによる影響が大きいようです。

症状として目の疲れ、ゴロゴロ感、しょぼしょぼする、乾燥で水晶体表面がデコボコになることで

目がかすむなどがあげられます。

またストレスも原因としてあげられ、涙は副交感神経に支配されているためストレスによる緊張状態では交感神経が優位になり涙が出にくくなるとのことです。

○ 気を付けたい習慣や予防法としては

無防備に紫外線をあびない(サングラス等)、十分な睡眠、適度な運動、過度の飲酒、喫煙などですが酒とタバコは止められませんよねえ。

目の渴きを補充する目薬を差すのも良いようです。

賛否両論ありますが、液晶画面をよく見る私はブルーライトカットのメガネは意外と有効だなあと感じる今日この頃(61歳)です。



海の事件・事故は電話118番

酒田海上保安部

漁業種類別前年度水揚げ対比表

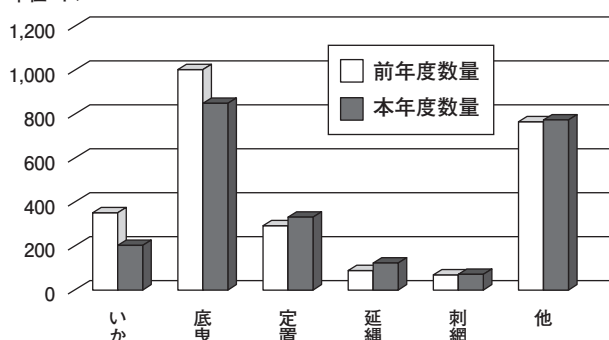
令和7年2月28日現在

(単位: kg, 千円)

	2月数量	本年度数量	前年度数量	数量増減	2月金額	本年度金額	前年度金額	金額増減
1 底曳網漁業	122,414	844,308	1,005,193	▲160,885	54,647	680,131	741,856	▲61,725
2 刺網漁業	418	74,058	69,275	4,783	470	76,971	70,922	6,049
3 いか一本釣漁業	1,695	73,788	176,636	▲102,848	2,433	79,527	166,081	▲86,554
4 船凍いか釣漁業	0	131,668	173,140	▲41,472	0	195,992	292,285	▲96,293
5 はえなわ漁業	505	125,848	93,414	32,434	878	184,846	148,641	36,205
6 ごち網漁業	0	70,809	86,629	▲15,820	0	54,469	64,367	▲9,898
7 定置網漁業	0	328,475	290,285	38,190	0	142,278	130,458	11,820
8 採貝藻漁業	1,963	127,521	94,729	32,792	3,261	112,938	80,865	32,073
9 その他の漁業	793	571,831	577,884	▲6,053	1,305	200,007	197,074	2,933
10 張網漁業	100	2,079	8,593	▲6,514	70	1,132	5,457	▲4,325
11 遊漁、直売、県外	0	0	0	0	2,544	22,364	71,822	▲49,458
合計	127,888	2,350,385	2,575,778	▲225,393	65,608	1,750,655	1,969,828	▲219,173

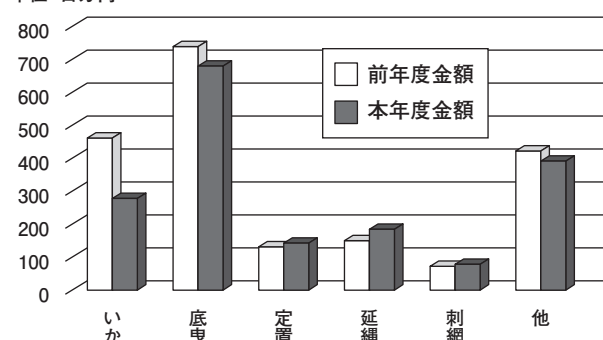
単位: トン

水揚げ数量対比表



単位: 百万円

水揚げ金額対比表



水揚情報

令和7年2月28日現在

(単位：千円)

支所別 区 分		水揚合計	水 揚 地 内 訳							
			吹 浦	飛 島	酒 田	加 茂	由 良	豊 浦	温 海	念珠関
1月末迄水揚累計		1,665,226	84,438	54,662	508,800	112,890	247,377	158,862	47,699	450,498
月間水揚	県内船水揚	62,232	1,848	3,281	13,159	416	7,347	6,015	274	29,892
	県外船水揚	832	0	0	832	0	0	0	0	0
	合 計	63,064	1,848	3,281	13,991	416	7,347	6,015	274	29,892
前年同月水揚		110,738	7,060	7,223	28,929	707	15,737	6,423	838	43,821
本年度水揚	県内船水揚	1,475,452	86,286	57,943	286,179	113,306	254,724	164,877	47,973	464,164
	県外船水揚	252,837	0	0	236,611	0	0	0	0	16,226
	合 計	1,728,289	86,286	57,943	522,790	113,306	254,724	164,877	47,973	480,390
前年度水揚累計		1,898,010	82,976	60,872	728,244	111,790	254,180	158,821	25,222	475,905
増 減		-169,721	3,310	-2,929	-205,454	1,516	544	6,056	22,751	4,485
本年度水揚計画		2,237,000	92,000	65,000	929,000	122,000	287,000	181,000	27,000	534,000
達 成 率		77.2%	93.7%	89.1%	56.2%	92.8%	88.7%	91.0%	177.6%	89.9%

今あがっている魚

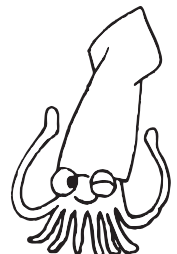
－ 2月のベストテン －

前年対比 増 ↗ 減 ↘ 変らず →

水 揚 金 額 (千円)				漁 獲 量 (kg)			
1	た ら	24,433	↘	1	た ら	72,524	↘
2	た い	11,046	↘	2	さ め 類	16,926	↗
3	するめいか	2,478	↘	3	た い	13,097	↘
4	さ め 類	2,078	↗	4	に ぎ す	2,199	↘
5	やりいか	1,734	↘	5	するめいか	1,755	↘
6	ほっこくあかえび	1,425	↘	6	あ ん こ う	1,718	↘
7	ひ ら め	1,384	↘	7	やりいか	1,373	↘
8	あ ん こ う	1,328	↘	8	め ば る 類	1,148	↗
9	生 の り	1,250	↗	9	さ ざ え	1,110	↘
10	た こ 類	1,132	↘	10	た こ 類	856	↘



月間MVP



月間MVP



● 待ちに待った春到来です。皆様にはお元気で過ごしのことを存じます。

今年も沿岸部では、雪の少ない過ごしやすい冬季ではありましたが、年明け後も時化が続く、なかなか出漁できない日々が続いています。

● 春と言えば、お孫さんやお子様の卒業式・入学式。なかには社会人1年生等お祝い事が続くご家庭も多いと思います。是非、地元の食材（地産地消）で祝っていただきたいと思います。

● 話題と言えば、昨年から続く米価の高騰ですが、各ご家庭の家計にも響いているのではないのでしょうか。今まで米が高いとあまり感じることはありませんでしたが、今思えば、米処で育ったからなのか、いつでも米はあると思っていました。

● 魚だってそうです。いつでも食べたい時に食べられる、とと思っていましたが、海況の変化から旬のものが食べたい時に食べられない、というご時世になってきています。

● しかし、特に「寒〇〇」と言ったような、寒い時期に水揚げされる魚は本当においしいので、まだ食べることが出来る今こそ、少しでも多くの方にぜひ食べていただきたいです。

● 今年度も残すところわずかです。来年度も組合員の皆様に素敵な情報や楽しい話題などを提供できますよう「すいさん山形」広報担当一同努めて行きたいと思っております是非色々な情報・話題のご提供をよろしくお願い致します

新会長紹介

山形県浅海漁業連合会



会長
田澤 喜一 氏

このたび山形県浅海漁業連合会の会長に就任しました田澤喜一です。

鶴岡市今泉地区で、定年退職後より磯見漁を営んでおります。

本連合会は、山形県内で浅海漁業を営む者の所得の増大による漁業経営の安定化を目指し、資源の増殖に重点を置くことで、生産性の向上を図るとともに、会員相互の親睦を深めることを基本方針に活動しております。

資源の維持管理・回復への取組みとして、これまでアワビ稚貝の放流に積極的に取り組んできて

おりますが、放流効果がより高まるよう、丁寧に、適切な時期に放流することを心がけております。また、酒田海上保安部など各関係機関と連携し密漁防止巡回活動を行うことで、日々漁場の管理に努めております。

今後も、変わりゆく海況を見据えながら庄内浜の発展を目指した様々な取組を、会員一丸となって進めていきたいと考えております。

最後になりますが、県漁協、組合員、そして県、市町等関係機関の方々からもより一層のご協力とご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。

受賞おめでとうございます



大場龍汰さん

庄内地域農林水産業若者賞受賞

2月14日、庄内地域農林水産業若者賞授賞式が庄内総合支庁にて行われました。水産業では由良地区の大場龍汰さん（第21清栄丸、19トン、いか釣り漁業）が受賞し、庄内総合支庁長から表彰状が授与されました。

この賞は、庄内地域の農林水産分野で活躍する若者の優れた功績や成果、活動を顕彰するもので、40歳未満で活動期間がおおむね3年以上である個人・団体等に授与されます。大場さんは若者賞が始まって以来、最年少での受賞となりました。

大場さんは、父が船頭を務めるイカ釣り漁船の乗組員として、イカを追って日本海を南から北まで移動する生活を送っています。スルメイカの漁獲量が減少するなか、限られた資源を高く売る工夫として、「活イカ水槽」を整備し、「活イカ」や「活締めイカ」出荷に取り組んだ活動が認められ、今回の表彰に繋がりました。

この度は誠にありがとうございます。庄内水産振興課 専門水産業普及指導員 工藤 創

県漁協直営



海丸周年祭



「内陸に庄内浜の新鮮なお魚をお届けしたい」の気持ちで、コープしろにし店（山形市）に庄内海丸がオープンして、9周年を迎えました。

3月8日（土）、3月9日（日）には9周年祭が開催され、初日は開店前から100名を超える大行列ができました。

チラシ商品である、庄内浜の魚を詰め込んだ、「鮮魚BOX」は今回も、大好評で、午前中には売り切れてしまう程でした。

今回は、アンケート企画も開催し、「庄内の魚は本当に美味しい」や、「庄内出身で庄内の魚を食べたくなったら海丸に来る」などうれしいお言葉や激励を沢山いただきました。

10周年に向け、気持ちを新たに、お客様に喜んでもらえる商品を提供し、庄内浜の美味しいお魚をどんどんPRしてまいります。

今後とも、庄内海丸の応援よろしくお願いいたします！

加工場長代理 倉田 公平

令和7年2月8日（土）霞城セントラルを会場に「寒鰯まつりin山形」が開催されました。

県漁協女性部では昨年度より出店しておりますが、先月11日に放送された「旅サラダ」（女性部員が出演しました）の影響力があつたのか、それとも寒鰯まつりin山形が定着してきたのか、この日は大変な長蛇の列となりました。

そのため、大変な悪天候の中で長時間にわたりお待たせしてしまう事態となってしまう、大変申し訳なく思う反面、「並んでも食べたい!」という皆様のお心が伝わり、吹雪の中頑張ってお店してよかったなと、がぜん販売に力が入った部員でした。

他にも、県漁協水産加工場が出店し漁協の新鮮握り鮓や寒鰯汁セット等を販売し、飛ぶように売れ、極寒の中大盛況でした。

海から少し離れた山形市内の皆様にも新鮮な魚をより多く食べていただけますように、我々女性部も県漁協と協力しながら色々考えていきたいです。



第6回

寒鰯まつり

in山形

庄内浜の冬の味覚が大集合!